

「救急」について

9 月 9 日は・・・「救急の日」です。

救急の日は、「9(きゅう)9(きゅう)」の語呂合わせから、救急医療関係者の意識を高めるとともに、救急医療や救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深めることを目的として、昭和 57 年(1982 年)に厚生労働省によって定められました。

● 備えあれば憂いなし・・・「準備が整っていれば、どんな事が起きても案ずることはない」

日ごろからの準備が大事です。

● 一家に一つ!!! 家庭の救急箱の中身は何が必要か? 自宅の救急箱、中身は揃っていますか? 最近ドラッグストアも増えコンビニにも衛生用品が置いてあるので自宅に救急箱は置いていないという人もいるかと思われます。しかし、いざ具合が悪いとき、もし一人きりだったら買いに行けるでしょうか? 万が一の怪我や発熱などの応急措置に対応するためにも、あらかじめ必要な薬や衛生用品を常備しておきましょう。

あると便利な救急箱の中身をまとめてみました。

(ほんの一例です。それぞれのご家庭に応じて準備しましょう。)

内服薬・・・総合感冒薬・解熱鎮痛剤・胃腸薬・酔い止め

外用剤・・・消毒薬・点眼薬・湿布薬・塗り薬・虫よけスプレー

衛生材料・その他・・・体温計・包帯・絆創膏・はさみ・ピンセット・毛抜き

アイスノン・ガーゼ・ビニール袋・綿棒・ティッシュペーパー・三角巾

● 薬には使用期限があります。最低でも一年に一回は定期的の中身をチェックしましょう。

最後に!

★病院へ行く? 救急車を呼ぶ? 急な病気やけがで迷ったら★

★東京消防庁救急相談センター

急な病気やけがをした場合に、「今すぐ病院に行ったほうがいいのかな?」「救急車を呼んだほうがいいのかな?」など迷った際の相談窓口として、東京消防庁救急相談センターを開設しています。

東京消防庁救急相談センターでは、これらの相談に相談医療チーム(医師・看護師・救急隊経験者などの職員)が 24 時間・年中無休で対応しています。

受付番号#7119 は携帯電話・PHS・プッシュ回線からご利用いただけます。その他の電話・または、つながらない場合は、03(3212)2323 からご利用ください。